

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ディーエムエス
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 克彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长代理 (氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,260	△0.1	236	26.7	228	29.4	145	24.8
25年3月期第1四半期	4,265	△0.6	186	35.5	176	39.4	116	117.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 181百万円 (78.2%) 25年3月期第1四半期 101百万円 (51.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	24.94	—
25年3月期第1四半期	19.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	12,973	7,296	56.2	1,253.02
25年3月期	13,234	7,202	54.4	1,236.84

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,296百万円 25年3月期 7,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,150	1.8	300	△18.8	290	△16.4	160	40.1	27.48
通期	17,550	1.1	1,130	2.0	1,090	3.1	650	9.0	111.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	7,262,020 株	25年3月期	7,262,020 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	1,438,680 株	25年3月期	1,438,616 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	5,823,372 株	25年3月期1Q	5,823,492 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済対策・金融政策の効果などを背景とした円安・株高の影響により、景気に持ち直しの兆しがみられたものの、全体としては顕著な改善に至っておらず、実体経済の回復にはいまだ不透明感が漂う状況で推移しました。

当社グループ（当社および当社の子会社）に関連する広告業界におきましても、こうした状況を反映し、顧客企業における販促企画の需要の本格回復には至らず、前年に比べて厳しい状況となりました。

このようななか当社は、新規顧客開拓を積極的に展開するとともに、宛名データ処理・出力やフィルムラッピングをはじめとしたメーリングサービス業務の内製化を推進してまいりました。また、「通販・EC出荷代行サービスの開発」や「マーケティングサービスの強化」、「ウェブ・モバイルマーケティングサービスの開発」といった新サービス開発に取り組み、販売を開始するなど、事業領域の拡大にも努めてまいりました。

この結果、当四半期連結累計期間の連結売上高は、42億60百万円（前年同期比0.1%減）となりました。連結営業利益は、低採算案件の見直しを図ったことと、販売管理費が前年同期に比べて31百万円減少した結果、2億36百万円（同26.7%増）となりました。連結経常利益は、営業外収益が8百万円（同5.1%減）、営業外費用が15百万円（同13.8%減）となった結果、2億28百万円（同29.4%増）となりました。連結四半期純利益は、税金費用を96百万円としたことにより1億45百万円（24.8%増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開した結果、売上高は、38億73百万円（同2.1%減）と前年同期に対して僅かに届かなかったものの、セグメント利益は低採算案件の見直しを図ったことで3億10百万円（同3.3%増）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務の新規受注に努めた結果、売上高は3億6百万円（同26.2%増）となりました。セグメント利益はユーザー獲得プロモーションのキャンペーン業務などの貢献によって45百万円（同44.8%増）となりました。

③イベント部門

販売促進・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力した結果、売上高は63百万円（同27.8%増）、セグメント損失は3百万円（前年同期セグメント損失2百万円）となりました。

④賃貸部門

千代田小川町クロスタビル（東京都千代田区）等の売上高は14百万円（同1.2%減）、固定資産税の納付によってセグメント損失は1百万円（前年同期セグメント損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に仕掛品が2億79百万円増加しましたが、現金及び預金が2億4百万円、売上債権が3億52百万円減少したことにより、全体として51億47百万円（前連結会計年度末比2億41百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に減価償却費の計上等で有形固定資産、無形固定資産および投資不動産が95百万円減少しましたが、資本業務提携に係わる出資等で投資有価証券が94百万円増加したことにより、全体として78億13百万円（同19百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が11百万円（同781千円減少）となりました。

その結果、資産合計では、129億73百万円（同2億61百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が2億36百万円、未払法人税等が1億45百万円、それぞれ減少しましたが、賞与引当金が1億6百万円増加したことにより、全体として30億68百万円（同2億37百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に社債が22百万円、長期借入金が86百万円減少したことにより、全体として26億7百万円（同1億17百万円減）となりました。

その結果、負債合計では、56億76百万円（同3億55百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では連結四半期純利益1億45百万円の計上と配当87百万円を支払ったことにより、差し引きで前連結会計年度末に比べて57百万円の増加となりました。そのほか、株式市場等の上昇を受けてその他有価証券評価差額金が36百万円（税効果分は除く）増加したことにより、全体として72億96百万円（同94百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月17日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,676,899	1,472,866
受取手形及び売掛金	3,134,326	2,781,734
仕掛品	167,078	446,341
立替郵送料	131,181	120,794
繰延税金資産	121,507	148,701
その他	160,734	180,434
貸倒引当金	△2,729	△3,057
流動資産合計	5,388,998	5,147,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,787,255	2,757,010
機械装置及び運搬具(純額)	325,252	286,232
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産(純額)	135,763	125,150
その他(純額)	51,853	46,760
有形固定資産合計	6,130,225	6,045,255
無形固定資産		
投資その他の資産	73,970	71,224
投資有価証券	506,174	600,513
投資不動産(純額)	968,765	961,163
繰延税金資産	9,614	—
その他	232,981	224,501
貸倒引当金	△88,961	△88,961
投資その他の資産合計	1,628,575	1,697,217
固定資産合計	7,832,771	7,813,697
繰延資産		
社債発行費	12,278	11,497
繰延資産合計	12,278	11,497
資産合計	13,234,048	12,973,008

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,786,630	1,550,306
1年内償還予定の社債	90,150	90,150
短期借入金	507,656	507,656
リース債務	39,345	37,877
未払法人税等	280,364	134,710
賞与引当金	207,297	313,656
その他	394,759	433,958
流動負債合計	3,306,204	3,068,315
固定負債		
社債	522,550	499,975
長期借入金	1,565,045	1,478,131
リース債務	147,513	136,380
退職給付引当金	353,736	354,211
役員退職慰労引当金	56,540	46,265
繰延税金負債	9,970	23,074
再評価に係る繰延税金負債	21,332	21,332
その他	48,523	48,523
固定負債合計	2,725,212	2,607,894
負債合計	6,031,417	5,676,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	5,958,990	6,016,931
自己株式	△582,600	△582,652
株主資本合計	7,937,206	7,995,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,817	119,097
土地再評価差額金	△817,392	△817,392
その他の包括利益累計額合計	△734,575	△698,295
純資産合計	7,202,630	7,296,798
負債純資産合計	13,234,048	12,973,008

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	4,265,706	4,260,973
売上原価	3,762,361	3,739,654
売上総利益	503,345	521,319
販売費及び一般管理費	316,910	285,061
営業利益	186,435	236,257
営業外収益		
受取利息	58	142
受取配当金	6,327	5,776
雑収入	2,261	2,287
営業外収益合計	8,647	8,206
営業外費用		
支払利息	17,742	15,174
その他	782	790
営業外費用合計	18,524	15,964
経常利益	176,558	228,499
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13,977
特別利益合計	—	13,977
特別損失		
固定資産除却損	370	992
特別損失合計	370	992
税金等調整前四半期純利益	176,187	241,484
法人税、住民税及び事業税	87,347	120,378
法人税等調整額	△27,575	△24,185
法人税等合計	59,771	96,193
四半期純利益	116,415	145,291

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
四半期純利益	116,415	145,291
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△14,511	36,279
その他の包括利益合計	△14,511	36,279
四半期包括利益	101,904	181,571
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	101,904	181,571
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,954,373	242,557	49,545	15,058	4,261,535	4,171	4,265,706
セグメント間の内部 売上高又は振替高	420	937	—	—	1,358	30	1,388
計	3,954,794	243,494	49,545	15,058	4,262,893	4,201	4,267,095
セグメント利益又は損 失(△)	300,024	31,505	△2,492	△2,209	326,827	359	327,187

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	326,827
「その他」の区分の利益	359
セグメント間取引消去	△1,388
全社費用(注)	△139,373
棚卸資産の調整額	10
四半期連結損益計算書の営業利益	186,435

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,873,019	306,036	63,296	14,885	4,257,237	3,736	4,260,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	449	101	—	30	580	173	754
計	3,873,468	306,138	63,296	14,915	4,257,818	3,909	4,261,727
セグメント利益又は損 失(△)	310,053	45,648	△3,939	△1,165	350,596	1,040	351,637

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	350,596
「その他」の区分の利益	1,040
セグメント間取引消去	△754
全社費用(注)	△114,625
四半期連結損益計算書の営業利益	236,257

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。